

17

ローマ字を使って書いてみよう①

学習日

月

日

★ローマ字とは

ローマ字は、日本語を表すのに使われている文字の一つで、**大文字**と**小文字**が二十六こずつあります。ア行の音は一字で、その他の音は二字以上のローマ字を組み合わせて表します。

いえ	ie
あめ	ame
はと	hato

ローマ字のつづり方には、いくつかのきまりがあります。

①のばす音を書く場合

「くつき」の「くつ」のように、「クー」とのばす音は、のばす音の上に「ー」をつけて表します。

kūki
(空気)

tōri
(通り)

okāsan
(お母さん)

onēsan
(お姉さん)

「ー」は「a...
u...e...o...」の上に
つけるんだよ。



②つまる音を書く場合

「根っこ」の「っ」のように「っ」とつまる音は、次に来る音を重ねて書き表します。

nekkō
(根っこ)

kitte
(切手)

shippo
(しっぽ)

ressha
(列車)

gakkyū
(学級)

③はねる音の後に「a:i:u:e:o:y」がつづく場合

「ほんや」の「んや」のように、「ん」というはねる音の後に「a:i:u:e:o:y」で始まる音がつづくときは、「n」の後に「,」を入れて区切りま

hon'ya
(本屋)

kon'ya
(今夜)

pan'ya
(パン屋)

「,」を入れないと、
「ほにゃ」などと
読めてしまうね。



きほん練習



答えはべっさつ06ページ



できなかった問題は、ふく習しよう。

1

次のひらがなの言葉を、
字で書きましょう。

すべて小文字のローマ

(4) おばあさん

(1) ことり

(5) はっぴょう

(2) たまご

(6) ぜんいん

(3) めがね

2

次のローマ字の言葉を、
ひらがなで書きましょ
う。

(4) kyōryū

[_____]

(1) tōfu

[_____]

(5) senpūki

[_____]

(2) shako

[_____]

(6) nikkichō

[_____]

(3) hon'ya

[_____]

1章

2章

3章

言葉の知しき

4章

5章

6章

7章

8章

9章

18

ローマ字を使って書いてみよう②

学習日

月

日

★ローマ字の書き方

ローマ字は、地名や人の名前を表すときにも使います。また、書き方がいくつかある場合もあります。

①人の名前や地名や国名を書く場合

人名や地名のはじめの文字は、大文字で書きます。地名や国名は、^{ぜんぶ}全部を大文字で書くこともあります。

Akita
(秋田)

Tōkyō
(東京)

HOKKAIDŌ
(北海道)

Hara Yūta
^{はら ゆう た}
(原 勇太)

Kawada Mai
^{かわだ まい}
(川田 真衣)

駅名や、道路の行き先などには、ローマ字表記が出ているよ。



★ローマ字入力

し	si/shi
ち	ti/ch
つ	tu/tsu
ふ	hu/fu
じ	zi/ji
し	sya/sha
し	syu/shu
し	syo/sho
ち	tya/cha
ち	tyu/chu
ち	tyo/cho
じ	zya/ja
じ	zyu/ju
じ	zyo/jo

パソコンなどでローマ字入力をするときには、右の二とおりのどちらでも打ちこむことができます。

日本語の言葉の**の**はす音は、ひらがなで書くときと同じように入力します。また、かたかなの**の**はす音を表す記号の「**ー**」は、キーボードの**ー**キーを打ちます。ふつう、「**ぢ**」は**DI**、「**づ**」は**DU**、「**を**」は**WO**。「**ん**」は**NN**と打ちます。



くゆしくは、教科書などでも見て、たしかめておこう。

きほん練習



答えはべっさつ06ページ



できなかった問題は、ふく習しよう。

1 次の人の名前を、ローマ字で書きましょう。

(1) たなか みお

(2) せき けんた

(3) につた あおい

2 次の地名を、^{すべて}大文字で書きましょう。

(1) いわて

(2) なら

(3) とっとり

3 次のひらがなの言葉を、^{ことば}すべて小文字のローマ字で書きましょう。

(1) ふね

(2) りょうり

(3) しゃしん

4 次のひらがなをパソコンにローマ字入力するとき、どのキーを打ちますか。に当てはまるローマ字を大文字で書きましょう。

(1) ん

(2) を

(3) づ

1章

2章

3章

言葉のしき

4章

5章

6章

7章

8章

9章

17 ローマ字を使って書いてみよう ①

本文 31 ページ

- 1** (1) kotori
(2) tamago
(3) megane
(4) obāsan
(obaasan)
(5) happyō
(happyou)
(6) zen'in
- 2** (1) とうふ
(2) しゃこ
(3) ほんや
(4) きょうりゅう
(5) せんぷうき
(6) につきちょう

解説

1 (4)「はあ」「(5)「ぴよう」のようにのはず音の上には「こ」をつけます。(5)つまる音を書く場合は次に来る音を重ねて書きます。

19 言葉の仲間分けて、何？

本文 37 ページ

- 1** (1) ア・エ (2) イ・ウ (3) ア・ウ
- 2** (1) イ (2) ウ (3) エ (4) エ
- 3** 朝・男の子・犬・くつ・朝日・まわり・風・ほつぺた

解説

1 (1)イは動きを表す言葉、ウは様子を表す言葉。(2)ア・エは様子を表す言葉。(3)イ・エは動きを表す言葉。

2 (1)ウ・エは動きを、アはものや事からを表す言葉。(2)ア・エは様子を、イは動きを表す言葉。(3)ア・ウはものや事からを表す言葉。(4)ア・ウは様子を、イはものや事からを表す言葉。

18 ローマ字を使って書いてみよう ②

本文 33 ページ

- 1** (1) Tanaka Mio
(2) Seki Kenta
(3) Nitta Aoi
- 2** (1) IWATE
(2) NARA
(3) TOTTORI
- 3** (1) fune (hune)
(2) ryōri (ryouri)
(3) shashin (syasin)
- 4** (1) NN
(2) WO
(3) DU

解説

4 コンピュータでローマ字入力するとき、ローマ字表にはない打ち方をする文字があります。覚えておきましょう。

20 くわしく表す言葉って、どんなもの？

本文 39 ページ

- 1** (1) ウ (2) オ (3) ア (4) エ (5) イ
- 2** (1) レストランに出かけた。 (2) おじいさんに教えてあげる。
(3) オムライスを食べた。 (4) ふわふわのワッションを買った。

解説

1 (4)「今夜」という時を表す言葉であることから考えましょう。

2 それぞれ、くわしく表す言葉をくわえることで、つたえたい内ようがはつきりすることをおさえましょう。



ふく習テスト①

(本文26～27ページ)

1 (1) れる (2) まる (3) ない (4) がる (5) ける (6) う (7) める

2 (1) 柱 (2) 店 (3) 数 (4) 葉 (5) 都

(6) 秒 (7) 開 (8) 道 (9) 歌 (10) 家

3 (1) ひる・ガイ (2) あたら・コウ

(3) テン・ハン

4 (1) 日 (2) 合 (3) 放

(1) イ (2) ア (3) ウ

6 (1) エ・オ・キ・ク (2) ア・イ・ウ・カ (それぞれ順番はちがっていても○)

ポイント

1 (3) 「少くない」「少い」、(6) 「整のう」などとまちがえないように、気をつけましょう。

2 それぞれの部首は、(1)・(6)は「へん」、(2)は「たれ」、(3)・(5)・(9)は「つくり」、(4)・(10)は「かんむり」、(7)は「かまえ」、(8)は「によつ」です。

3 どの言葉の漢字が音なのか訓なのか分からないときは、教科書の終わりのほうにある、これまでに習った漢字の表でたしかめましょう。

(2) 「会」は人とよくそくして顔を合わせるときに使います。

5 (3)と同じ意味で使われている言葉には、「駅長」「市長」「村長」などいろいろあります。

6 (2)ア「天」と「地」、イ「売る」と「買う」、ウ「明る」と「暗い」、

カ「内」と「外」のように、反対の意味になる言葉は見分けやすいので、先に見つけるとよいでしょう。

ふく習テスト②

(本文34～35ページ)

1 (1) ア3 (2) イ4 (3) ウ1 (4) エ2

(1) イ (2) 組む (3) 見つかる (4) 寒い (5) 大きい

(3) ア4 (4) イ3 (5) ウ2 (6) エ1

3 (1) ア (2) イ (3) イ (4) イ

4 (1) ア (2) イ (3) イ (4) イ

5 (1) ア (2) イ (3) イ (4) イ

(1) ① とうきょう ② さつぽろ ③ きんじょ ④ しゃしんしゅう

ポイント

2 (2)エの「ケ」は「ケ」キ「と」おきかえて考えます。

1 「走る」にはほかに、「人や動物が足を動かしてどつする」(駅まで走る)、「急いで向かう」(病院に走る)、「水などがいきおいよく流れる」(岩間をわき水が走る)など、いろいろな意味があります。

3 文の終わりの「。」の前にあるときの形を考えましょう。なお、「しずかだ(しずかです)」のように「だ」「です」がつく言葉は、国語辞典の見出しには「だ」「です」を入れない形で出ています。

4 (3)・(4)県名のはじめは大文字、「県」は全て小文字です。

5 (2)ウ「ん」というはねる音の後に「y」がついているので、「ny」の後に「、」を入れます。

6 (2)ウ「ん」というはねる音の後に「y」がついているので、「ny」の後に「、」を入れます。